

じゅんじょに きをつけてよう

つくし2グループ

「だれが たべたのでしょう」

1 単元の目標と評価規準

目標：事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 文の中における主語と述語の 関係に気付いている。	① 「読むこと」において、事柄の 順序などを考えながら、内容 の大体を捉えている。	① すすんで事柄の順序などを考え ながら内容の大体を捉え、今ま での経験や学習を生かして分 かったことを伝えようとしている。

2 教材について

終 わ り	中														
	事例3					事例 2					事例 1				
⑬	⑮	⑭	⑬	⑫	⑪	⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
まとめ	食べ方	答え	問い	食べた跡	食べるもの	食べ方	答え	問い	食べた跡	食べるもの	食べ方	答え	問い	食べた跡	食べるもの
やまやもりでは、いろいろなどうぶつの たべた あとが みつかる。	むささびは、このはを かみきって たべる。	むささびが、このはを たべたのだ。	だれが、このはを たべたのか。	はの まんなかだけが、かじられた もの も ある。	ちぎれた このはが、おちている。	りすは、まつぼっくりの まわりだけを たべて、しんを のこす。	りすが、まつぼっくりを たべたのだ。	だれが、まつぼっくりを たべたのか。	まわりだけが、かじられた もの も ある。	まつぼっくりが、おちている。	ねずみは、からに あなをあけて なかみを たべる。	ねずみが、くるみを たべたのだ。	だれが、くるみを たべたのか。	あなの あいた もの も ある。	くるみの からが、おちている。

本教材は、3つの小動物を事例にあげ、その食痕について書かれた説明文である。文章を読んで初めて知る発見や面白さを味わうことができる内容である。

3 単元計画(全7時間)

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	教材を読んで、感想を交流することができる。	○どんな動物が何を食べるのか、知っていることや想像したことを発表する。 ○教材全文を通読し、感想を交流する。
第二次	2	3つの事例と問いの文、答えの文があることを理解することができる。	○写真を見てほしいの内容を把握し、3つの事例があることを確認する。 ○「はじめ、中、終わり」に分ける。
	3 4 5 本時	3つの事例を読み、書かれている順序を理解することができる。 第3時【事例1 ねずみ】 第4時【事例2 りす】 第5時【事例3 むささび】	○音読 ○書かれている順序を確認する。 (第3時→問い、答え、食べ方の3つの文の並び) (第4時→食べ物・食べた跡・問い・答え・食べ方の5文を確認) (第5時→どの事例も同じ並びであることの気付き) ○食べ方を読み取る(動作化) ○たべあとクイズを出す(第5時)
第三次	6 7	これまで学習してきた文を使って、別の動物で「たべあとクイズ」をつくることができる。	○教師が用意した動物の食べ跡を使って、「たべあとクイズ」の文を作成する。(または、言葉を考える。) ○「たべあとクイズ」を出す練習をする。

4 全力参加のための手立て

動作化

小動物が木の実や葉を食べる様子を本文に基づいて動作化する。

→内容理解

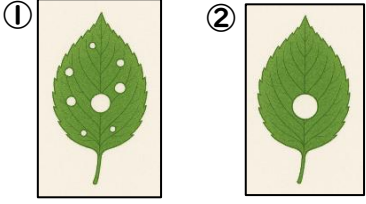
センテンスカードの並べ替え

一人一人がセンテンスカードを並べることで、事例の文の順序に気付く。

→文の構造の理解

5 本時の展開(全7時間中の第5時)

本時の目標: むささびの食痕について、書いてある順序を理解することができる。

時間	学習活動	・指導上の工夫 ・▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 2分	1 これまで出てきた動物を確認する。 T:これまでに、どんな動物の食べあとを読みましたか。ペアで一つずつ話して座りましょう。	・ ペアで立ち、一つずつ言ったら座らせる。	
展開1 20分	2 音読をする。 3 木の葉をむささびが食べるところを読み取る。 T:クイズを出します。(2枚の葉を見せて)どちらが、むささびが食べた木の葉でしょう。(1or2 で選択する) C:1かな。たくさん食べてある。 C:2だよ。真ん中だけ食べてあるよ。  T:では、むささびになって、木の葉を食べる真似をしてみましょう。	・ むささびがどんな動物か、知っていることや想像することを聞く。 ・ むささびの写真を見せる。 ・ むささびが食べた葉はどちらか選ばせる。【Which 型】 ・ 答えの根拠は本文の言葉から考えさせる。 ・ 「葉の真ん中だけがかじられた」の文に気付かせる。 ・ 教科書の葉の写真と本文を一致させる。 ・ 一人ずつ前に出て、むささびが木の葉を食べる真似をさせる。【動作化】	 伝えたい
展開2 20分	4 段落の文の順序を考える。 T:黒板にセンテンスカードを並べました。みんなも自分で並べてみましょう。 C:先生の間違えているよ。 C:最初に食べたあとが書いてあるよ。 C:問いの次が答えの文だったよ。 T:そう?じゃ、直すから教えてほしい。 T:今度は、みんなも自分のセンテンスカードを並べてみよう。	・ 前の黒板には、センテンスカードを間違えた順番で貼っておく。【仕掛け】 ・ 「食べ物・食べ跡・問い・答え・食べ方」の5文に分けることを一緒に確認しながら正しく並べる。 ・ 各自が自分のセンテンスカードを並べる。【並べかえ】 ▲前段落までの色分けしたセンテンスカードを、ホワイトボードに貼っておく。	 考えたい

	5 たべあとクイズをする。 T:今日のめあては、書いてある順番でむささびの食べあとクイズをすることです。 むささびの たべあとクイズを しよう ペアで、クイズを出す側と答える側になりやってみる。	・ 並べ替えたセンテンスカードを使って、書いてある順に読むとクイズのようになることを確認する。 ▲並べたセンテンスカードを使ってクイズを出す。 ・ 既習の説明文のクイズづくりを思い出してできるようにさせる。	段落に書いてある順序を考えて、クイズを出したり答えたりして学習に参加している。 (クイズをする様子の観察)
まとめ 3分	6 クイズをした感想を伝え合い、本時のめあてを振り返る。		

6 板書計画

たべあとクイズをしよう

①


②


どちらが
むささびが たべた
このはかな

だれが たべたのでしょうか

かいであるじゅんばんで

めあて むささびの たべあとクイズをしよう

じゅんばんを かんがえて ならべよう

むささびに なって このはを たべよう

ちぎれた このはが、おちています。

たべもの

はの まんなかだけが、かじられた もの も あります。

だれが、このはを たべたのでしょうか。

むささびが、このはを たべたのです。

むささびは、このはを かみきって たべます。

たべかた

こたえ

とい

たべたあと



7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。